記載例 (フードバンク枠)

様式第1号の2(第7条関係)

事業計画書

団体(又は個人)の名称	○○フードバンク
代 表 者 名	代表 熊本 花子
設立時期·活動始期	○年 ○月
会 員 数	会員 30名 (うち、運営に携わるもの 15名)
申請事業名(仮称可)	0000
活 動 目 的	○○地域では、近年、共働き世帯の流入が増加しており、子育て世帯の孤立化が進んでいる。そのため、子育て世帯の不安解消や地域全体で子育てを支える環境づくりを行うため、地域の子育て家庭やこども食堂等に対し無償で食料を提供する活動を実施することで、こども達の健全育成を図ることを目的として活動を行う。 実現したいことや解決したい課題を、社会的背景、地域の実情等を踏まえ活動目的を記載。
活 動 内 容	・企業や一般家庭等からの無償で食料の提供受付。 ・子育て家庭やこども食堂等に無償で食料を提供。 団体が行っている活動全体を記載。
助成を受けたい活動内容 とその理由	(1)実施時期 〇月~〇月 各月〇回 計〇回 (2)内容 子育て家庭やこども食堂等に無償で食料の提供を実施。 〇〇と連携し、〇〇の状況にある親子には、〇〇のようなフォローを行う。 (3)申請理由 食料の提供を実施する際の会場使用料や消耗品の購入、広報活動等に使用したい。 申請事業の具体的な内容と、どの活動に使用したいかを記載。
主 な 活 動 場 所	熊本市○○公民館(熊本市○○区○○)
主 な 参 加 者 層	記載不要

※第2条第1項第8号の	
活動に対し、助成を受け	
ようとする場合のみ記入	
不要	
広報·周知方法	チラシの配布(近隣の子育て支援センターなど)、回覧板、ホーム
	ページ、Facebook、LINE
開催回数・頻度	記載不要
※第2条第1項第8号の 活動に対し、助成を受け ようとする場合のみ記入 不要	
活動の継続性	SNS 等での活動の周知により、会員数・参加者は増加している。
	また、○○で○○を販売することにより、団体の自主財源を確
	保している。大半を自主財源で運営することを目標にしている。
	参加者の確保、自己収入の増加、他団体との連携体制等、一 定の計画性があることを記載。
今後の活動の展開	地域における多様な関係者を巻き込むことで、地域全体で子育て
	を支える環境を作る。3年後には、○○のような地域となること
	を目指している
	事業の広域化や支援内容の充実を図るための計画、数年後の 事業展開の構想を記載。
	○○ネットワーク、○○の会、○○自治会、○○小学校、
関係団体や機関等との連携体制	民生委員、主任児童委員
	提携団体、ボランティア団体、地域コミュニティ、行政等、連
	携を(予定)している連携先を記載。
活動の独自性・先進性	当該事業は○年間継続しており、実施により、○○の状況にあ
	る親子へのフォローや必要な支援に繋げている。
模範的な取り組み	自団体での実施内容をモデルケースとし、他団体への普及活動に
	も力をいれており、○○をおこなっている。
見込まれる効果	・参加者数 延べ○人
	・○○な状況にある親子を○○にする
	事業実施を通して見込まれる効果を数値や文章で記載。
	実績報告時に、結果を成果として記載していただきます。 —

参加費・会費	記載不要
※第2条第1項第8号の 活動に対し、助成を受け	
ようとする場合のみ記入 不要	
	・食品の保管、荷捌きに必要な施設及び機械を設置・保有している
	・配送時を含めて適切な温度管理を行っている。
	・食品を食品衛生に悪影響を及ぼす薬品、廃棄物等とは分けて保
	管している。
衛 生 管 理 体 制 ※第2条第1項第6号及 び第8号の活動に対し、 助成を受けようとする場 合のみ記入	・保管中の食品が消費期限又は賞味期限を過ぎた場合や、汚損又
	は破損等により食品衛生上の問題が生じた食品は譲渡していない。
	・食品の取扱いに従事する者は、食品衛生に関する研修・講習等
	を定期的に受講し、食品衛生に関する必要な知見の習得に努めている。
	・施設及びその周辺は定期的に清掃し、常に衛生上支障のないように維持している。
	・施設内の採光、照明及び換気を十分行っている。
	・実施時は、最低○名、平均○名で実施
	・農林水産省「フードバンク活動における食品の取扱い等に 関する手引き」を参照し記入すること。
	・事業実施時に対応する運営スタッフの人数を必ず記載。
当該助成金の助成回数	0回(年度)
他 の 助 成 金	無し・有り(○○助成金)

民間等他の助成金を受けている場合、その名称を記載。 同事業に対して、<mark>市の助成金を受けている場合は、助成の対象となりません。</mark>